

第1講 戦略デザインの源泉：理念と文化の深化

～「想い」を言語化し、揺るぎない経営の土台を築く～

演習ラベルの色： ■ 最重要 ■ 重要・次点 ■ 任意・深掘り （番号のみ＝講義）

セッション1【基盤】 リーダーシップ実践

★宣言を現実にする「社長の行動」

- 1 リーダーシップの定義
- 2 現代リーダーシップの研究領域（5つのコア要素）
- 3 リーダーシップ理論の変遷とパラダイムシフト
- 4 リーダーシップ能力の高い人の特徴
- 5 演習111：リーダーシップ能力サーベイ

セッション2【診断】 企業文化の現状分析と浸透シナリオ設計

★「なんとなくの社風」を経営の武器に変える

- 1 企業文化と地方中小企業
- 2 企業文化と組織風土
- 3 演習121：組織の「負の風土」を打破する意思決定
- 4 演習122：値データ・ギャップ分析を用いた企業文化診断

セッション3【実践】 共感を創り出す「対話」と「場の演出」

★感情を動かす対話スキルを実践で習得する

- 1 「伝達」と「対話」の違いを理解する
- 2 なぜ、正論だけでは人は動かないのか
- 3 「伝達」と「対話」を見分けるチェックリスト（現場で使える）
- 4 伝達の典型行動に対応する「最適な対話スキル」一覧表
- 5 演習131：共感ダイアログの実践
- 6 感情を動かす「場の演出」デザイン
- 7 「場の演出」12ヶ月プランへの組み込み
- 8 まとめ：社長の想いを「組織の共通言語」へ
- 9 演習132：明日への最初の一步——私の「共感ダイアログ」計画

お知らせ（演習コード早見表 — 3つの学習ルート）

～お時間と目的に応じて、学ぶルートを選べます～

本講義は3つのルートでお読みいただけます。ラベル（【**最重要**】＝赤／【**重要・次点**】＝オレンジ／【**任意・深掘り**】＝グレー）も目印にしてください。

- ルート① 【**最重要**】（赤） まず必ず取り組むコア演習：コード122
- ルート② 【**重要・次点**】（オレンジ） 次に押さえたい演習：コード111・132
- ルート③ 【**任意・深掘り**】（グレー） お時間に応じて深掘りする演習：コード121・131

コード	演習タイトル	内容・優先度
111	リーダーシップ能力サーベイ	【 重要・次点 】 自己評価×他者評価でギャップを可視化
121	組織の「負の風土」を打破する意思決定	【 任意・深掘り 】 ケーススタディで対処法を立案
122	値データ・ギャップ分析を用いた企業文化診断	【 最重要 】 診断ツールで文化醸成度を数値化
131	共感ダイアログの実践	【 任意・深掘り 】 ロールプレイで対話スキルを体得
132	明日への最初の一步——私の「共感ダイアログ」計画	【 重要・次点 】 対話スキルを明日の行動計画に落とし込む

※演習コードは各演習スライドの左上に記載されています。コード順に進めることで、第1講の学びが体系的につながります。